

国土交通省 近畿地方整備局
資 料 配 布

配布日時	平成13年4月27日 14時
------	-------------------

件 名	平成13年度の道路事業調査について
-----	-------------------

概 要	平成13年度に新規着手する主な道路事業調査の紹介
-----	--------------------------

取 り 扱 い	_____
---------	-------

同 時 配 布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	-----------------------

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 道路部 TEL. 06-6942-1141 [代表] 道路計画第一課長 山田哲也 (内線4211) 道路計画第一課 課長補佐 大西博 (内線4213)
--------	--

平成13年度の道路事業調査について

道路の整備計画を策定するには、地域の状況、地域交通の現況について十分認識するとともに、将来にわたる交通需要や道路整備需要を的確に把握することが必要であり、このため各種の道路調査を実施しています。

平成13年度の近畿地方整備局管内の道路事業調査費（直轄分）の予算額は、1,039百万円であり、道路及び交通状況を把握するための調査、道路交通を分析し幹線道路網のあり方等を検討するための調査、高規格幹線道路、地域高規格道路及び直轄国道等の整備計画を策定し事業実施を円滑に行うための調査、既存の道路における交通安全の確保及び良好な道路環境を整備するための調査等について、地域のそれぞれの課題に対応した道路整備を念頭に道路事業調査を実施します。

	平成12年度 (当初)	平成13年度 (当初)	対前年度比
道路事業調査費 (百万円)	977	1,039	1.06

以下、平成13年度に新たに着手する主な道路事業調査を紹介します。

◎地域高規格道路 名神名阪連絡道路に関する調査 . . . 資料-1
→ (地域の連携・交流の強化)

◎京都府南部地域の幹線道路網のあり方に関する調査 . . . 資料-2
→ (地域の均衡ある発展の支援)

◎但馬西部地域の幹線道路網のあり方に関する調査 . . . 資料-3
→ (交通環境の改善)

◎一般国道169号 熊野川道路に関する調査 . . . 資料-4
→ (過疎地域の活性化支援)

◎京都府中部地域の幹線道路網のあり方に関する調査 . . . 資料-5
→ (信頼性の高い道路の確保)

地域高規格道路 名神名阪連絡道路に関する調査

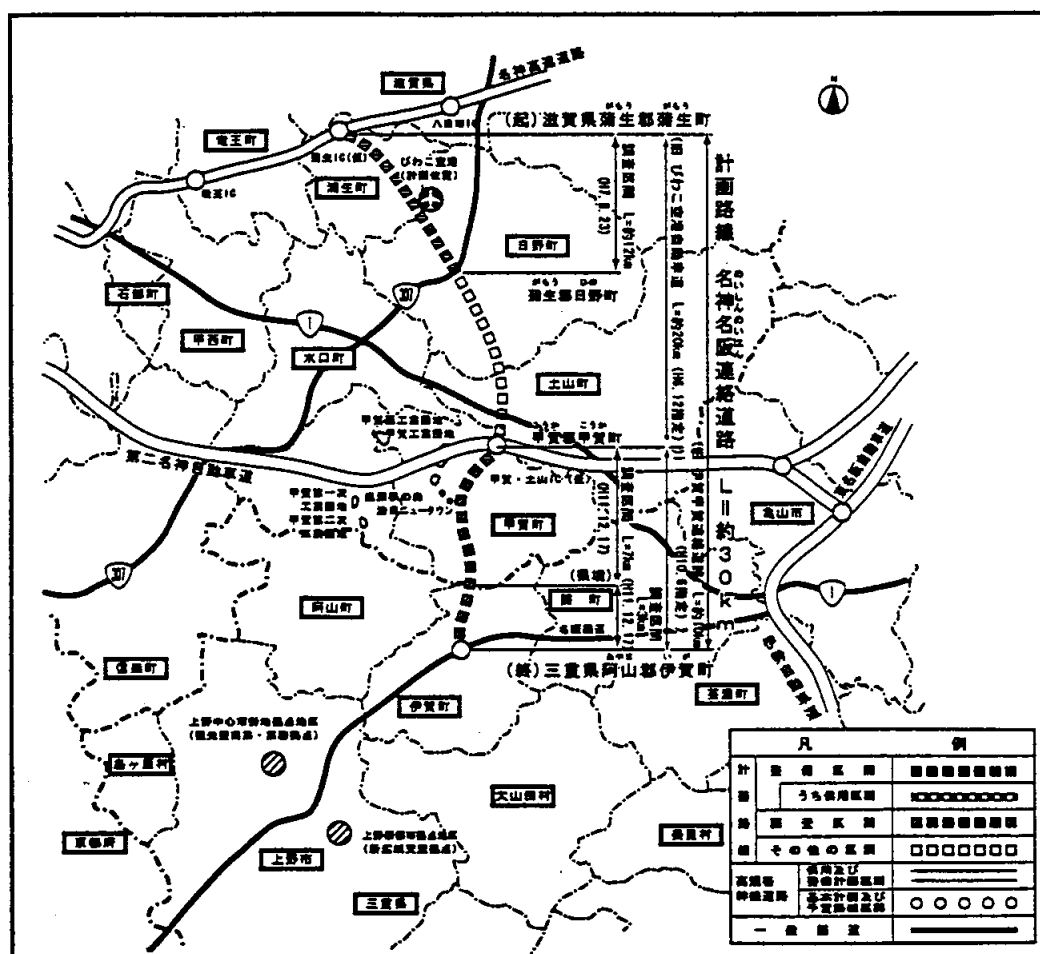
1. 地域の課題

滋賀県と三重県が接する幾中央地域では、名神高速道路、名阪国道及び整備が進む第二名神高速道路など東西方向の幹線道路の整備は、充実しています。

しかし、これらの東西方向の幹線道路を連絡する南北方向の幹線道路は弱く、滋賀県と三重県の連携・交流が希薄であるとともに、さらには伊勢・紀伊半島地域から北陸地域といった広域的な連携・交流が図りにくい状況にあります。

2. 調査の概要

名神名阪連絡道路は、昨年１２月に名神高速道路と名阪国道を連絡する延長約３０ｋｍの地域高規格道路として位置づけられ、平成１３年度から名神名阪連絡道路として、新たな調査を展開するものです。北陸自動車道、名神高速道路及び伊勢自動車道等と一体となって、伊勢・紀伊半島地域と北陸地域を結ぶ、新たな連携・交流軸を構成する名神名阪連絡道路の担う役割について整理するとともに、名神名阪連絡道路のルート等について、調査・検討を行います。



京都府南部地域の幹線道路網に関する調査

1. 地域の課題

京都府南部地域では、ナショナルプロジェクトである関西文化学術研究都市の整備が進められています。このうち木津川の左岸地域は、平成12年4月に京奈道路が開通するなど道路整備も進み、都市化が着実に進んでいます。

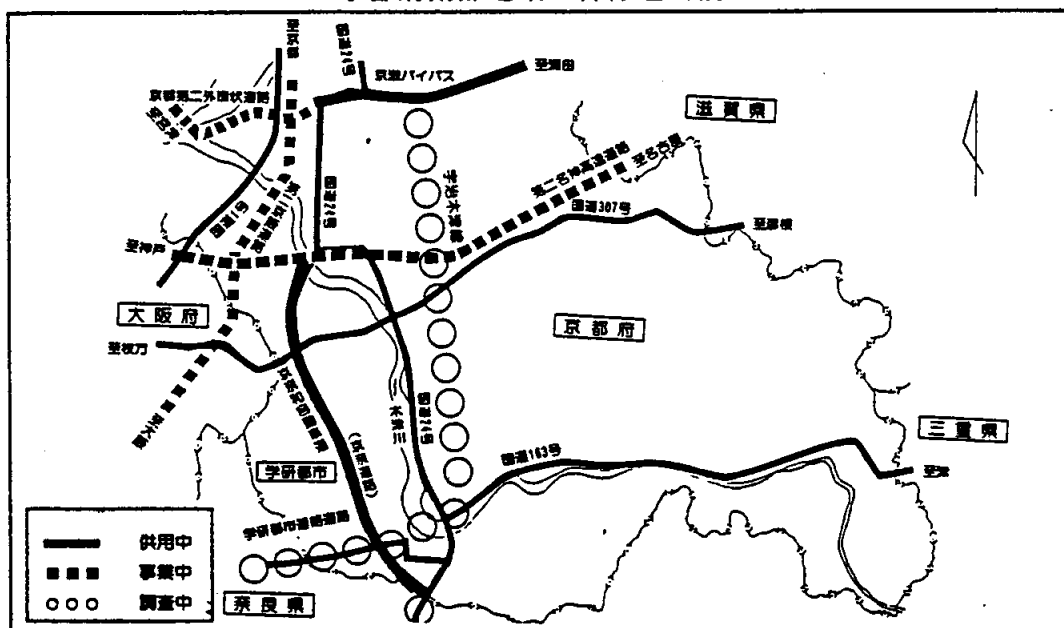
しかし、右岸側地域では、関西文化学術研究都市との連携などによる将来的な発展が期待される地域であるものの、南北方向の幹線道路である国道24号の交通渋滞、東西方向の幹線道路である国道163号の大型車対策など幹線道路網における課題が多い状況にあります。

2. 調査の概要

京都府南部地域の幹線道路網の課題及び今後の地域整備の方向を踏まえ、京奈道路、国道24号、国道163号、さらには地域高規格道路の候補路線である宇治木津線等の担う役割について整理するとともに、今後の地域の発展を支える幹線道路網のあり方について、調査・検討を行います。

※ 本調査にあたっては、平成13年3月15日に学識経験者、京都府を含めた「京都府南部地域道路網検討委員会」を設置しており、同委員会を通じて調査・検討を推進していくこととしています。

京都府南部地域の幹線道路網



但馬西部地域の幹線道路網に関する調査

1. 地域の課題

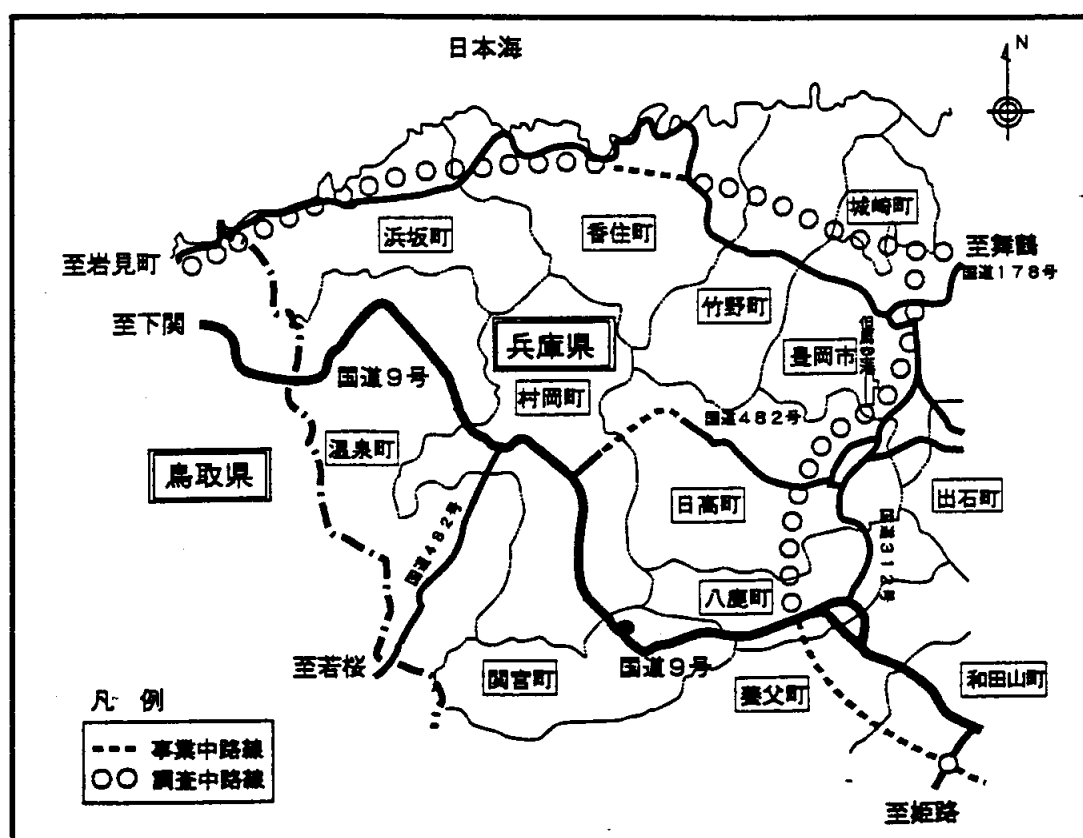
但馬西部地域は、兵庫県北部に位置し積雪など冬期の自然環境の厳しい中山間地域であり、地域の人々は、東西方向に走る唯一の幹線道路である国道9号を生活道路として利用しています。

しかし、阪神・淡路大震災以降、国道9号を通る大型車が急増し、沿道の騒音が環境基準を超過するとともに、通学生を含めた歩行者の交通安全が脅かされるなど、地域住民の生活に影響を与えており、交通環境の改善が課題となっています。また、冬季積雪時には、堆雪幅の不足などから発生する交通渋滞、休日の観光・スキーを目的とした交通が原因となる交通渋滞等、多くの課題を抱えています。

2. 調査の概要

但馬西部地域の国道9号を中心とした幹線道路網の課題及び今後の地域整備の方向を踏まえ、各幹線道路の担う役割について整理するとともに、今後の地域の生活基盤を支える幹線道路網のあり方について、調査・検討を行います。

但馬西部地域の幹線道路網



一般国道169号 熊野川道路に関する調査

1. 地域の課題

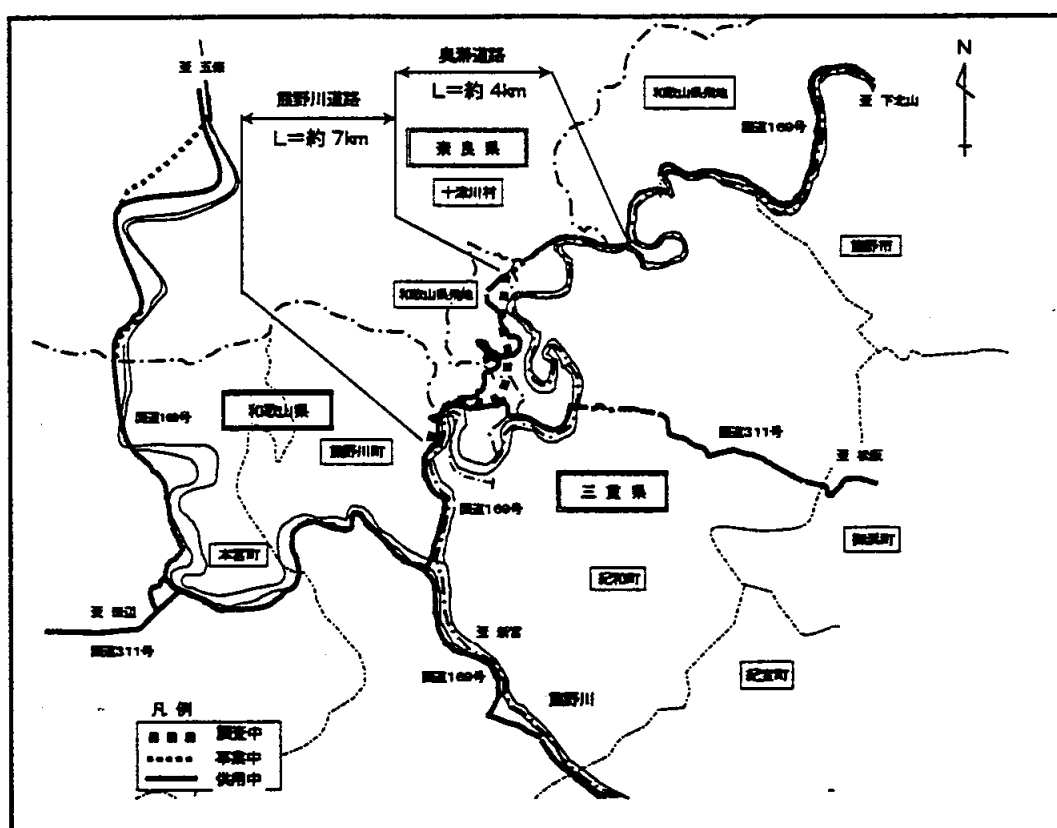
国道169号は、過疎と高齢化が年々進行する奥熊野地域に住む人々にとって、生活に欠かせない幹線道路です。

しかし、当該地域を通過する国道169号は、幅員狭小でかつ線形が悪く、異常気象時通行規制区間にも指定されているなど、未整備箇所が多く、奥熊野地域の住民の福祉、医療、教育、文化、防災などの活動において課題となっています。

2. 調査の概要

熊野川道路は、熊野川町から十津川村を經由して熊野川町に至る延長約7kmの道路であり、現在事業中の隣接する奥湊道路と一体となって、国道169号の課題を解消し、北山村をはじめとする当該地域の安全で安心な暮らしを確保するとともに、吉野熊野国立公園を背景とした観光資源豊富な当該地域の今後の発展を支援し、地域の活性化に大きく貢献します。

この熊野川道路について、昨年度まで実施してきた計画に関する調査を踏まえ、事業実施に向けた路線設計及び構造物設計等の調査・検討に、平成13年度から新規に着手します。



京都府中部地域の幹線道路網に関する調査

1. 地域の課題

京都府中部地域（京都市北部及び北桑田郡）には鉄道がなく、日常生活や産業・経済・社会活動は、南北方向の唯一の幹線道路である国道162号及び東西方向の唯一の幹線道路である国道477号に、依存しています。

しかし、これらの幹線道路は、線形が悪く、かつ異常気象時交通規制区間が多数あり、大雨時に道路が寸断されるなど、地域住民の日常生活や産業・経済・社会活動において、支障をきたしています。

特に、京北、美山両町と京都市の中心地まで直結する国道162号の栗尾峠付近については、異常気象時交通規制区間であるとともに、急勾配かつ急カーブが連続し、冬期には路面凍結するなど交通安全上の課題も多い状況にあります。

2. 調査の概要

京都府中部地域の幹線道路網の課題及び今後の地域整備の方向を踏まえ、各幹線道路の担う役割について整理するとともに、今後の地域の発展を支える幹線道路網のあり方について、調査・検討を行います。

京都府中部地域の幹線道路網

